

## 鈴鹿市河川防災センター及び鈴鹿川河川緑地（運動施設・公園）事業計画書等の要旨【公開用】

申請者名	中部安全サービス保障株式会社
基本的な方針	<p>弊社の『他人の生命・身体・財産を守る義務を基本に全従業員が「真面目」に「誠意」と「情熱」を持って社会に貢献し、地域社会に安全と安心を奉仕する。』という経営理念を基本に、地域住民の利用効率向上に努め、地域住民の福祉等の増進を図ると共に、公共性を十分に認識して、特定団体や個人に有利あるいは不利になる運営を行わないものとし、平等・公平に管理運営を致します。</p> <p>【総合的な運営基本方針】</p> <p>○公の施設の管理を十分認識し、公平で公正な、また、利用者の安全を優先させます。</p> <p>○施設利用者様及び社会的ニーズを反映し、「さらなる魅力づくり」のための多様なサービスを提供します。</p> <p>○従業員のスキルの向上を図り、利用者様の満足度を向上します。</p> <p>○創意工夫により、質の高いサービスを提供し、PDCAマネジメントサイクルを活用し、常に進化し質を高めます。</p> <p>○従業員のスキルの向上を図り、利用者様の満足度を向上します。</p> <p>○より良い施設の管理運営及びサービスの提供をします。</p> <p>○緊急時災害対応マニュアルに基づき、利用者様の安全を第一に考え、リスク管理を徹底します。</p> <p>○従業員全てに対して個人情報マネジメントシステムの教育を行い、適切に取り扱います。</p> <p>○鈴鹿市様の要請に従い、必要な情報を開示・提供します。</p> <p>○委託業者選定については、市内業者・県内業者を優先的にして発注します。</p>
サービスの向上	<p>【サービス向上や利用促進のための方策について】</p> <p>鈴鹿市河川防災センター及び鈴鹿川河川緑地（運動施設・公園施設）の設置目的・趣旨・鈴鹿市の方針等を踏まえ、施設利用者様及び社会的ニーズを反映し、鈴鹿市河川防災センター及び鈴鹿川河川緑地（運動施設・公園施設）の「さらなる魅力づくり」のための多様なサービスを提供します。施設を利用する誰もが「楽しかった」「また来たい」と思えるように、利用者満足度を高めます。</p> <p>サービスの提供については、ニーズに応じて内容や質等を改善して、PDCAマネジメントサイクルに基づいて、より良いサービスの提供に努めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 接遇研修等の実施によるサービス（質）の向上を図ります。</li> <li>2) 施設利用に伴う「コンシェルジュ」となり、情報提供・案内を実施します。</li> <li>3) ユニバーサルデザインの考え方で実施します。</li> <li>4) 施設の安全安心利用のため、制服（警備服）を着用し、施設の巡回パトロールを実施します。</li> </ol> <p>【利用者様とのトラブルがあった場合の対処方法について】</p> <p>鈴鹿市河川防災センター及び鈴鹿川河川緑地（運動施設・公園施設）は、公平で公正な話し合いの姿勢を基本として、鈴鹿市河川防災センターの設置目的から使用方法・利用ルールについて、また、鈴鹿川河川緑地（運動施設・公園施設）の利用規程・マナー等をわかりやすく説明します。施設利用者様の協力・理解のもとに対応・対処して、さらにクレーム・トラブル等の未然防止に努めます。</p>

施設の管理運営経費		施設の管理運営経費について						
		<p>【具体的なポイント】</p> <p>①人件費について 利用者様等に快適に施設等を利用して頂く為、弊社において必要な教育を受けさせ、多彩なスキルを備えたマルチスタッフを配置します。</p> <p>②委託費について 業務の効率化や、交通費・出張費等附帯経費の節減のため、できる限り、鈴鹿市内業者に発注することとします。鈴鹿市内で選定できない場合は、三重県内業者へ発注します。</p> <p>③備品・消耗品費等の購入について 備品・消耗品等の購入については、必要性を十分に検討してから購入します。</p> <p>【経費節減のために行う具体的な方策について】</p> <p>①光熱水費の節減について 光熱水費の節減については、河川防災センター施設の管理事務所等のエアコンの設定温度（夏：28℃、冬：20℃）とし、エアコンの使用制限（使用可能時期）を設け、光熱水費の節減に努めます。</p> <p>②マルチスタッフの育成について マルチスタッフには、弊社の警備員教育の受講を義務付けます。これにより、施設警備員に係る外部委託費を節減できます。</p> <p>また、様々な維持管理業務・管理運営業務を習得させることにより、外部委託費を節減できます。日常の維持管理業務の一環として、清掃や草刈り、軽微な修繕などはマルチスタッフが実施することを基本とします。</p> <p>③施設異常等の早期発見と適切な対応について 施設管理費を長期的にとらえ、各施設及び機器の長寿命化を図るため、日常点検を行います。</p>						
施設の安定した管理運営		<p>【施設の安定した管理運営について】</p> <p>センター長、副センター長、受付・事務等スタッフ、マルチスタッフにて施設の安定した管理運営を行います。</p> <p>① 受付・事務等スタッフは、女性の活躍推進も含め、地元在住の子育て中のパート勤務等でも従事可能とするため、勤務時間等を柔軟に考えて配置、採用します。</p> <p>② マルチスタッフは、警備業の教育を受けた者とし、各施設の管理運営業務も行います。また、各施設の維持管理業務も行います。尚、草刈り作業時に刈払機を使用する者には、必ず、刈払機取扱作業員に対する安全衛生教育を受け、修了証を持った者が行います。また、施設等の修繕作業も出来る色々なスキルを身につけた人物とします。</p>						
収支計画書 (千円)	年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	期間合計	
	収入合計	28,529	29,094	29,514	29,784	29,914	146,835	
	内訳	指定管理料	28,315	28,880	29,300	29,570	29,700	145,765
		事業収入	214	214	214	214	214	1,070
		その他	0	0	0	0	0	0
支出合計	27,758	28,008	28,630	28,936	29,248	142,580		

※ A4版2枚以内としてください。